

リニア駅周辺のまちづくりの方向性
[西地区]

中間とりまとめ

2019年1月

名古屋市



はじめに

★ 経緯 ★

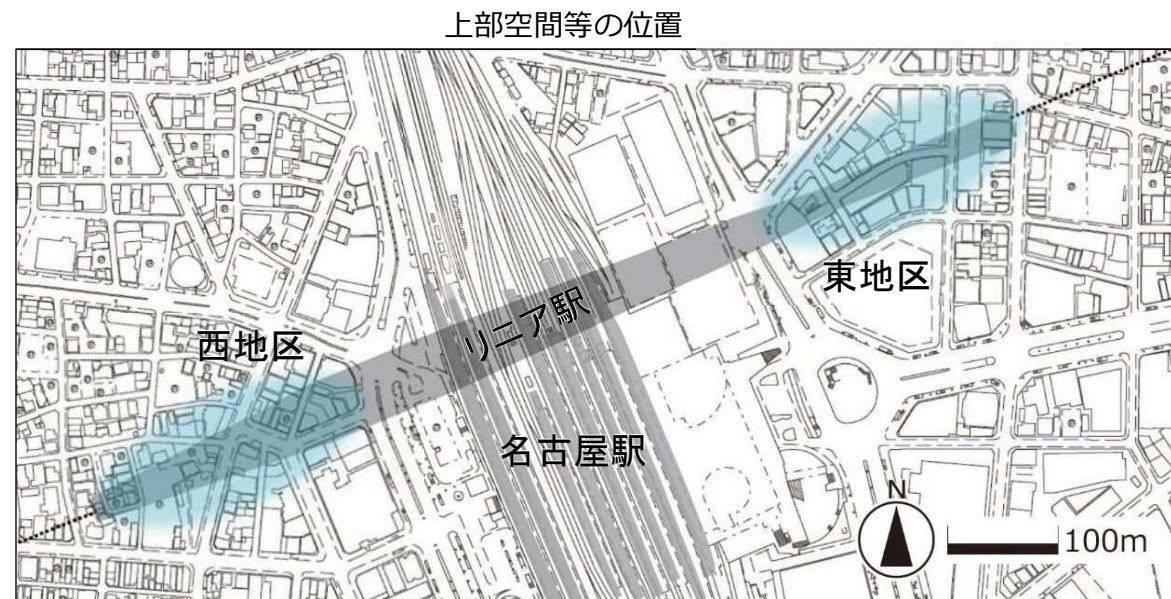
2027年に開業を予定しているリニア中央新幹線により、名古屋・品川間は40分で結ばれ、名古屋駅の拠点性・利便性がますます高まります。短時間での移動が可能となることにより、これまで以上に多くの人々が名古屋を訪れるようになるなど、交流圏域の拡大が図られるとともに、自動運転など様々な技術の進展による社会の変化が起こることも想定されます。

そこで、名古屋市では、リニア開業を見据え、リニア駅上部空間及び周辺街区のまちづくりを進めるため、その考え方を平成29年6月に「まちづくりの方向性（案）」として示しました。

この方向性（案）について、地権者や地域の皆さまを始め、様々な方からご意見を頂戴するとともに、関係機関との協議を進めてまいりました。

その中で、リニア駅の地上部分の空間を広場にすること、またこれに伴い道路の付替えを行うことについて、賛同のご意見を多くいただくとともに、広場のイメージや将来の管理等について、様々なご意見をいただきました。

そこで、いただいたご意見を踏まえ、将来のまちのイメージを描きながら目標とするまちの姿及びこれを実現するための取り組みの検討状況を取りまとめ、今後、皆さまとともにまちづくりを進めます。

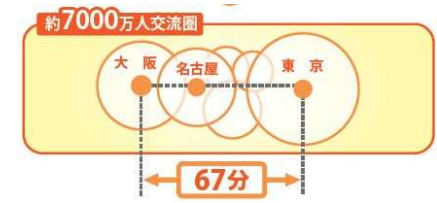


★ 皆さまからいただいた意見の一部 ★

広場	<ul style="list-style-type: none"> ・広場とすることに賛成 ・緑がある、イベントができる、災害時にも活用できる空間 ・ホームレス対策を ・まちの環境変化が心配 ・名駅から地下街でつながるとよい
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の再配置は妥当だと思う ・広場がなるべく広くなるように道路を配置するとよい
周辺まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・共同化勉強会があれば参加 ・共同化は難しいと思う ・市が再開発をと思っていた ・容積率の緩和など支援があるとよい ・駅の西側全体のにぎわいづくりも必要

コラム ～ 名古屋のあゆみ ～

- 1610年頃** 徳川家康による名古屋城の築城に伴う碁盤割の城下町の整備
➔ 先進的な都市骨格を形成
- 1886年頃** 東海道線の敷設による名古屋駅の開業
➔ 産業基盤の形成
- 1964年頃** 戦災復興土地区画整理事業による幹線道路ネットワークの形成及び東海道新幹線の開業
➔ 現在の名古屋の都市骨格を形成
- 2027年(予定)** リニア中央新幹線開業（東京～名古屋）
- 2045年(予定)** リニア中央新幹線延伸（東京～大阪）
➔ 東京～大阪間でリニアが開通すれば3大都市圏が約1時間で結ばれ、巨大な都市圏「スーパー・メガリージョン」が誕生し、約7,000万人の交流圏が形成



目標とするまちの姿と将来のまちのイメージ

交流空間となる広場を中心に、広域から人々が集い・にぎわうまち

広場や広場周辺の店舗等に、たくさんの人が集まり、交流し、様々な過ごし方のできる空間を目指します。

主な取り組み

1 広場整備・道路の再配置

2 広場等へ顔を向けた開発誘導
及び駅周辺の高度利用促進

10年後のつづき

「名駅で〇〇まつりが楽しめる!？」そんなSNSの投稿を見て広場へ…この広場は中部圏のお祭りなど様々なイベントのサテライト会場になっているよう…早速輪に加わり参加!ライブビューイングでは現地の人たちの姿も。来年は現地へ行ってみたい!



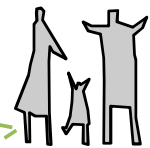
買い物客



名古屋在住
東京への通勤者

仕事は東京、住居は名古屋の私にとって、この広場は居心地のよいサードプレイス…カフェで買ったコーヒーを片手に今日の1日を振り返る

見通しのよい広場で子どもたちが走り回る。私たちは四季折々の風景を楽しみながら木陰で安心しておしゃべりを楽しむ。



居住者
(親子)

人々が集い、憩い、交流する広場が中心にあるまち

広場を中心に人々が集い・にぎわうまち

回遊性の高い
歩いて楽しいまち

駅とまちをつなぐ駅前広場

多彩で魅力的な顔をもつまち

安心・安全なまち

：周辺のまちや施設とのつながり



▲広場のイメージ



▲広場のイメージ

(広場内にリニア関連施設が配置される予定)

名古屋の“顔”となり、多彩で魅力的な“顔”をもつまち

名古屋駅前の立地を生かし、様々な働き方や住まい方に対応した多様な商業・業務・居住施設の立地を促進し、さらにはにぎわいが生まれる空間を目指します。

主な取り組み

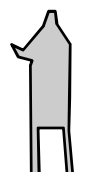
2 広場等へ顔を向けた開発誘導 及び駅周辺の高度利用促進

1 広場整備・道路の再配置

5 魅力ある地域資源の活用

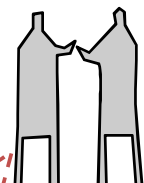
10年後のつづき

リニアの終電が遅いおかげで、東京などからの出張者が駅西の飲み屋の常連となり意気投合…いつの間にかビジネスに発展!



駅西の
経営者

いつもはウェブ会議でどこにいてもつながる私たちも、たまには顔を合わせたい…地理的に都合の良い名古屋で毎月集合〜ってことになり、駅西のコワーキングスペースを借りることに。



ノマド
ワーカー

交流拠点・魅力拠点にふさわしい安心・安全なまち

広場整備や周辺の開発に合わせて災害時に活用できる空間や誰もが安心・安全に歩ける空間を目指します。

主な取り組み

3 街並み・景観のルールづくり

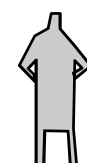
1 広場整備・道路の再配置

10年後のつづき



居住者
(親子)

街並みの雰囲気もよくなつて、散歩するのが楽しいね!



居住者
(シニア世代)

毎朝の日課は、椿神社の掃除を兼ねたお参りと小学生の登校見守り…この頃は住民も増え活気が出てきて、町内会主催で住民と企業が一緒に防災訓練も!

地域資源を活かした回遊性の高い・歩いて楽しいまち

商店街や神社など、地域固有のスポットを活用し、歴史を感じられる歩いて楽しい空間を目指します。

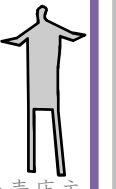
主な取り組み

5 魅力ある地域資源の活用

3 街並み・景観のルールづくり

10年後のつづき

活気づいてきた商店街の建物をリノベして風情のある空間に仕上げたテナントをオープン…ターゲットは最近増加しているファミリー層など!



小売店主



▲歩いて楽しい空間のイメージ
(戸越銀座商店街/品川区) ※写真提供: 品川区



▲安心・安全に歩ける空間のイメージ
(丸の内通り/千代田区)

まちへの玄関口となる開放性の高い駅とまちをつなぐ駅前広場

人と人、人とまちとの交流によるにぎわい創出やまちへの回遊の拠点となる空間を目指します。

主な取り組み

4 駅とまちをつなぐ開放性の高い広場を駅前広場に配置

2 広場等へ顔を向けた開発誘導
及び駅周辺の高度利用促進

10年後のつづき



観光客

せっかくの旅行を最大限楽しみたい!私たちは、モーニング目当てに朝から名駅へ!中央コンコースから出た駅前広場で駅西側のまちを紹介するイベントがあり、面白そうなのでまちの散歩へ出発!

まちづくりの取り組み

1 広場整備・道路の再配置

■取り組みイメージ

(1) 広場整備

- ・リニア駅上部空間は、広場利用を主とした公共的空間として活用
- ・広場と道路は、オープンスペースとしての一体的な活用に向けた設え・ルール等を検討
- ・筈瀬通より東側は、周辺の商業・業務施設等とともに、イベントなどにより名古屋駅を訪れた人が楽しめるにぎわいのある空間を整備
- ・筈瀬通より西側は、周辺の住宅街や椿神明社と調和した視認性の高い四季折々の緑あふれる空間を整備
- ・大規模地震時に一時退避場所として活用できるオープンスペースを整備
- ・広場や周辺来訪者等の利便性の向上及び都市環境の向上のための施設等を検討

広場	面積			備考	
	幅員	延長※	歩道の有無		
	約 7,000㎡ (筈瀬通以東: 約 3,600㎡ 筈瀬通以西: 約 3,400㎡)			リニア関連施設が配置される予定。	
道路 (区画街路)	幅員	延長※	歩道の有無	備考	
	①	12 m	約 110 m	有 (南側歩道)	道路・交通管理者との協議により変更になる可能性があります。
	②	6 m	約 50 m	無	
③	4 m	約 30 m	無		

※再配置する道路の延長



▲ イベントによりにぎわいのある空間を整備している事例 (うめきた広場/大阪市)



▲ 緑あふれる空間を整備している事例 (南池袋公園/豊島区)

2 広場等へ顔を向けた開発誘導及び駅周辺の高度利用促進

■取り組みイメージ

(1) 広場等へ顔を向けた開発誘導

- ・人々が集える空間やオープンな空間を広場やにぎわい軸へ向けて設置するなど、壁面の位置や建物の用途等について配慮した場合、インセンティブを付与する制度活用について地権者の方とともに検討



▲ 建物低層部に店舗等を設けてにぎわいを生み出している事例 (コレド室町/中央区)

(2) 駅周辺の高度利用促進

- ・共同化意向のある地権者の方が中心となる勉強会等の開催を支援
- ・土地の高度利用を誘導するための制度の活用を支援

3 街並み・景観のルールづくり

■取り組みイメージ

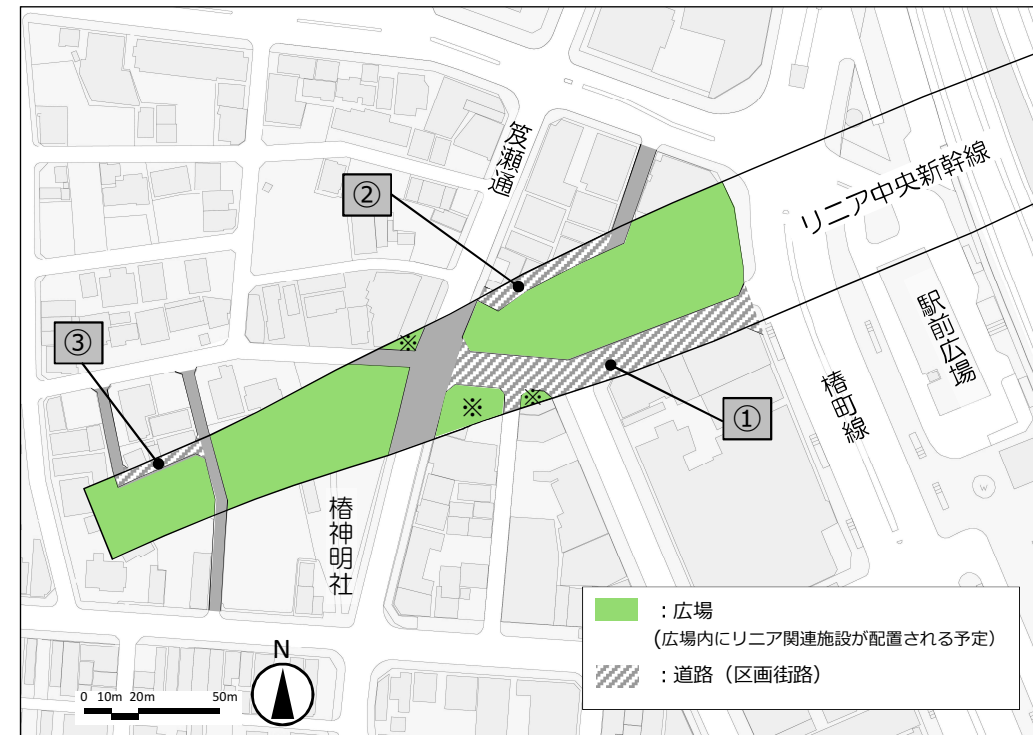
- ・安心して歩いたり楽しめる空間づくりのため、建物の外観や看板等についてルールづくり (都市景観形成地区や地区計画等) を地域の方とともに検討
- ・環境向上のための地域活動などソフトなルールづくりについて地域の方の検討を支援
- ・広場空間等の公共的空間を始め、地域のマネジメントのあり方について地域の方とともに検討



▲ 地区計画により街並みを統一している事例 (丸の内仲通り/千代田区)

(2) 道路の再配置

- ・現況の交通機能を確認するため、現況の歩道・車線を考慮した道路構成として整備 (下図①、②、③の路線以外の道路は、現況の道路配置)
- ・広場を横断する道路は、広場利用者の安全性を確保する設え等を検討



- ・リニア関連施設はできる限り広場空間と調和するように配置
- ・※印箇所にはリニア関連施設が配置される場合は、広場とならない可能性あり

4 駅とまちをつなぐ開放性の高い広場を駅前広場に配置

■取り組みイメージ

- ・人と人、人とまちとの交流によるにぎわい創出やまちへの回遊の拠点となるような、駅とまちとをつなぐ広場を配置
- ・広場をまちへの回遊の拠点として、リニア上部空間の新たな広場と連携し、まちをつなぎ、まちに人を誘う空間づくりを検討

5 魅力ある地域資源の活用

■取り組みイメージ

- ・地域のにぎわいづくりのため、名古屋駅と中村公園をつなぐ「太閤秀吉功路 人生大出世夢街道」をはじめ、地域の魅力を発信する事業を推進
- ・商店街等が主体となって取り組む魅力・にぎわいづくりへの支援
- ・リノベーション等による遊休化した不動産の積極的な活用を地域の方とともに検討



▲ 豊臣秀吉画像 (部分) 名古屋市指定文化財 名古屋清正記念館蔵

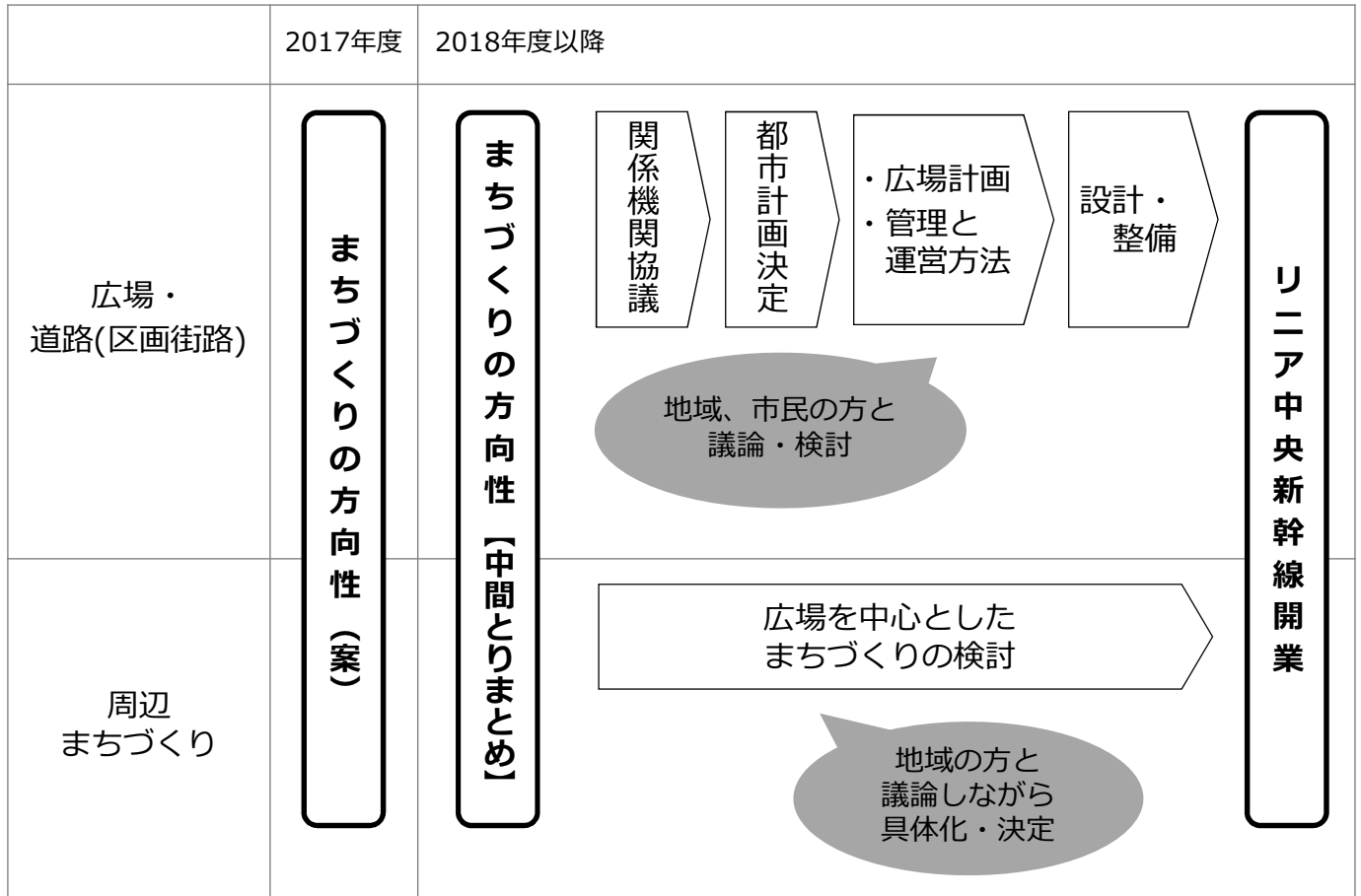


▲ 魅力ある空間へとリノベーションした事例 (北九州市)

「太閤秀吉功路 人生大出世夢街道」とは、名古屋駅から中村公園をつなぐルートに、豊臣秀吉の出世過程を表現した武将モニュメントの設置などにより観光客を呼び込むとともに、地域の誇りを醸成する事業

今後の進め方

★スケジュール★



★まちづくりの体制★

各取り組みを実践していくためには、地域住民・市民・事業者・町内会・まちづくり協議会・名古屋市等のそれぞれが担い手となります。

各々の取組内容や時期に応じて、主体となる担い手の方々が参加し、議論できる場や情報の提供等必要な支援を行います。

また、実践後の持続的なまちのあり方（展開）についても併せて検討・意見交換する場の提供・支援を行っていきます。

名古屋市 住宅都市局 リニア関連都心開発部
リニア関連・名駅周辺開発推進課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

電話 052-972-3986

電子メール a3981@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp